

第 10 回国際窒素会議（N2026） 高校生の参加およびポスター発表の募集

林 健太郎

第 10 回国際窒素会議組織委員会 委員長
国際窒素イニシアティブ東アジアセンター 代表
人間文化研究機構 総合地球環境学研究所 教授

日本初開催となる第 10 回国際窒素会議（N2026）は、「持続可能な窒素管理を将来世代のために」を主題としております。N2026 に合わせて、高校生を対象としたポスターセッションを開催します。参加校および参加者はプログラムに掲載されます。加えて、開会式、ユース企画、および市民公開講座への任意の参加が可能であり、「京都宣言」に向けたメッセージを募集いたします。

高校生と国内外の研究者との交流を通じて、わたしたちの食と環境を強く結びつけている窒素の持続可能な利用に向けた探究活動を支援し、将来の各分野の専門家を育む一助となることを願っております。ポスターセッションでは、国内外の研究者と同じ会場で発表できます。英語による意見交換の挑戦にもなります。研究者と高校生、また高校生同士の交流をぜひ深めてください。

＜ご関心のある高校関係者へ＞

- オンデマンド講義の提供： 私たちの窒素利用がもたらす問題はまだ広く知られていません。しかし、窒素は私たちの暮らしや環境と深く関わっています。このことについて、約 40 分の講義動画を提供いたします。話者は N2026 組織委員長の林健太郎（総合地球環境学研究所・教授）が担います。講義内容への質問は、取りまとめて送っていただければ回答いたします。講義を聴講して、生徒たちの議論を経て、ご発表の可能性をご検討ください。
- 講義動画提供のお申し込み： 窓口を担われる教員から、[こちらのリンク](#)よりお申込みください。下記の事項をご記入いただきます。
 - 高校名、担当教員氏名、連絡先電話番号、メールアドレス、（任意）ご質問など

＜ポスターセッションの募集要項＞

- 参加定員： 上限を 25 校といたします。提案内容を組織委員会において精査して判断します。
- 参加形式： 1 校につき 1 組（目安として 4～5 名程度）とします。指導教員の引率をお願いいたします。
- 発表回数： 1 組 1 回に限ります。
- ポスターのテーマ： 窒素とその問題に関する内容とし、学会や学術雑誌などで未公表であることを求めます。テーマ設定の支援のため、上記のとおり事前にオンデマンド講義資料を提供いたします。
- 言語： ポスターセッションを含み、N2026 では英語を用います。通訳の対応はございません。ただし、任意参加が可能な市民公開講座では日本語を用います。

<ポスターセッションの開催日時・会場>

- 参加費： 他のプログラム参加を含めて無料です。
- 日時： 2026 年 11 月 3 日（火）文化の日
- 場所： 国立京都国際会館（京都府京都市左京区岩倉大鷲町 422）内、ポスター発表会場
- 発表形式： 午前中にポスターを掲示、午後 4 時以降（予定）に対面のポスター発表、優秀ポスターを表彰、18 時解散予定
- 補足： チャット機能を有するオンラインシステムによる電子ポスターの掲載も行い、参加者間の交流を促します。

<応募方法>

- 募集期間： 2026 年 1 月 9 日～6 月 1 日（一次募集） * 参加枠に残りがある場合は 8 月 3 日まで二次募集をいたします。
- 応募手続： [こちらのリンク](#)よりお申し込みください。下記の事項をご記入いただきます。
 - ① 指導教員（日本語）： 氏名、連絡先電話番号、メールアドレス
 - ② 高校生代表者／参加者（日本語）： 氏名（日本語、英語）、学年（日本語）
 - ③ ポスター発表タイトル： 英語（目安として、スペース込みで 150 文字以下）
 - ④ 講演要旨： 英語（スペース込みで 2000 文字以下）
 - ⑤ 「京都宣言」に向けたメッセージ： 英語（数行程度の文章で点数に制限なし）
 - ⑥ 相談事項： ありましたら記載ください

<招待プログラム：N2026 開催中>

- ポスターセッションに参加される方は以下のプログラムにも任意で参加可能です。会場は同じく国立京都国際会館です。
- 開会式： 2026 年 11 月 2 日（月）13～17 時（予定）
- ユース企画（大学生たちの企画）： 2026 年 11 月 3 日（火）9～12 時（予定）*この後、お弁当を提供します。
- 市民公開講座： 2026 年 11 月 3 日（火）13～16 時（予定）*日本語。
- 他のプログラム： 会期は 2026 年 11 月 6 日（金）までとなります。希望校がありましたら以降のプログラム参加も検討いたしますのでご相談ください。ウェブサイトはこちら（<https://n2026.org/>）。

<参考情報>

会議概要：

- 名称：第 10 回国際窒素会議、10th International Nitrogen Conference (N2026)
- 主題：持続可能な窒素管理を将来世代のために、Sustainable Nitrogen Management for Future Generations
- 使用言語：英語（市民公開講座は日本語）
- 開催時期：2026 年 11 月 2 日（月）～6 日（金）、7 日（土）エクスカージョン
- 開催場所：国立京都国際会館（京都府京都市左京区岩倉大鷲町 422）

- 主催：国際窒素イニシアティブ、第 10 回国際窒素会議組織委員会、総合地球環境学研究所、日本学術会議（予定）
- 共催：日本土壌肥料学会、国際土壌科学連合
- 参加予定者数：1000 名（国内 600 名、国外 400 名・25 か国以上）
- 会議構成：開会式、招待基調講演、口頭セッション（パラレル）、ポスターセッション（コアタイムを含む）、市民公開講座、学術・企業等展示、ユース向けプログラム、科学・政策関係者等のマルチステークホルダー・ラウンドテーブル、京都宣言に向けたパネル討論、京都宣言、閉会式 等
- ウェブサイト：<https://n2026.org/>

開催主旨：

20 世紀初期に大気中の安定な窒素ガス（ N_2 ）からアンモニアを合成する技術を獲得した人類は、反応性窒素（ N_2 を除く窒素化合物の総称）を自由に使えるようになりました。主な用途は化学肥料であり、食料増産に大きく貢献して人口増加を支えてきました。火薬・爆薬、薬品、プラスチック・化学繊維、半導体などの工業原料も重要な用途です。近年は、燃料や水素キャリアとしてのアンモニアの利用も注目されています。一方、私たちの窒素利用に伴って大量の反応性窒素が環境に排出されています。その結果、地球温暖化、成層圏オゾン破壊、大気汚染、水質汚染、富栄養化、酸性化といった多様な窒素汚染を引き起こし、人の健康と生態系の健全性を損ねています。この問題を「窒素問題」と呼びます。窒素問題の解決には、窒素利用の便益を保ちながら窒素汚染の脅威を緩和する窒素管理が必要です。

窒素問題の専門家グループである国際窒素イニシアティブ（INI）は、3 年ごとに国際窒素会議を開催してきました。この度、第 10 回国際窒素会議（N2026）を日本の京都において開催します。国連環境計画（UNEP）が主催する国連環境総会（UNEA）のうち、2019 年の第 4 回および 2022 年の第 5 回において「持続可能な窒素管理決議」が採択されました。国際的な窒素管理の実践には、科学と政策の連携そして多様なステークホルダーの協働が必要です。そこで、N2026 は、「持続可能な窒素管理を将来世代のために」を主題として、専門家に加えて政策関係者やユースなどの多様なステークホルダーが集い、窒素問題の現状と将来に関する科学的知見の共有を図り、窒素管理に向けた課題を議論し、主題の実現に向けた将来ビジョンとして「京都宣言」を取りまとめます。

日程別プログラム案：

日付	午前	午後	夕方
1 日目： 2026 年 11 月 2 日（月）	● 受付 ● 各会場設営	● 開会式および招待基調講演（1 会場）：主催挨拶、来賓挨拶、招待基調講演 5 件	アイスブレイカー （国際会館宴会場 スワン+庭園開放）
2 日目： 3 日（火） 文化の日	● 口頭セッション（4 会場） ● ユース企画（1 会場） ● ポスターセッション（掲示） ● 企業等エキシビション	● 口頭セッション（4 会場） ● 市民公開講座（1 会場） ● ポスターセッション（掲示、コアタイム） ● 企業等エキシビション	
3 日目： 4 日（水）	● 口頭セッション（4 会場） ● 地球研国際シンポジウム（1 会場） ● ポスターセッション（掲示） ● 企業等エキシビション	● 口頭セッション（4 会場） ● 地球研国際シンポジウム（1 会場） ● ポスターセッション（掲示、コアタイム） ● 企業等エキシビション	
4 日目： 5 日（木）	● 口頭セッション（4 会場） ● マルチステークホルダー・ラウンドテーブル（1 会場） ● 企業等エキシビション	● 口頭セッション（4 会場） ● マルチステークホルダー・ラウンドテーブル（1 会場） ● 企業等エキシビション	ガラ・ディナー （ザ・プリンス京都宝 ヶ池）
5 日目： 6 日（金）	● 口頭セッション（4 会場） ● マルチステークホルダー・ラウンドテーブル（1 会場） ● 企業等エキシビション	● 京都宣言および閉会式（1 会場）： 京都宣言に向けたパネル討論、京都宣言、閉会挨拶 ● 各会場撤収	
7 日（土）	エクスカーション（複数コースを設定、事前申込制）		

* 今回募集する高校生ポスターセッションを含みます。

* 参加可能な高校生を招待するプログラムです。

* 他のプログラムも希望があれば参加できるように検討いたします。

窒素問題について詳しく知りたい方へ：

- 地球研 Sustai-N-able プロジェクトウェブサイト：
<https://www.chikyu.ac.jp/Sustai-N-able/>
- 窒素問題と Sustai-N-able プロジェクトを紹介するリーフレット：
https://www.chikyu.ac.jp/Sustai-N-able/documents/SusN_brochure.pdf
- 窒素問題をめぐる対談記事（地球研ニュース 89 号の一部）：
https://www.chikyu.ac.jp/rihn/cms_upload/publicity/351/newsletter_89.pdf
- 窒素問題を食の観点で紹介する動画（2 分）：
<https://www.youtube.com/watch?v=0TntailVsjQ>
- 書籍「図説 窒素と環境の科学」（朝倉書店）：
https://www.asakura.co.jp/detail.php?book_code=18057

以 上